

顔の疾患

顔面神経麻痺

『食事をすると片方の口から食べ物がこぼれてしまう』、『眼が閉じにくく乾燥してしまう』といった症状が出ます。顔面の表情を作る筋肉は顔面神経の働きで動いています。何らかの原因でこの神経が麻痺してしまうと、片方の顔面が動きにくくなります。麻痺とともに耳周囲の痛みを感じる人もいます。早期の治療が必要ですので、症状が出た患者さんは早めに相談するようにしてください。

ハント症候群

水痘帯状疱疹ウイルスによる感染です。顔面神経麻痺の他に顔や耳に水疱が出来て、痛みを伴います。痛みが後遺症として残ることがあるので、注意が必要です。

頸部リンパ節炎

細菌や、ウイルスにより扁桃、咽頭などに炎症が起こると、反応性に頸部リンパ組織が腫れて痛みや発熱を起こします。扁桃、咽頭などに症状が無くても頸部リンパ組織のみが腫れることもあります。基本的には炎症が治まるとリンパ節の腫れも治まってきます。症状が続く場合は、まれにリンパ節の腫瘍や、癌のリンパ節転移なども考えられるため、耳鼻咽喉科を受診してください。

急性耳下腺炎

耳の下にある唾液腺の炎症です。頬の内側に唾液腺の出口があるのですが、ここから細菌が入り込み、食事などの唾液分泌時に耳下腺の痛みと腫脹が起こります。薬で炎症を抑えるのとともに、唾液腺をマッサージして唾液の排泄を促してあげるのが有効です。

急性顎下腺炎

顎の下にある唾液腺の炎症です。舌の下側に唾液腺の出口があるのですが、ここから細菌が入り込み、食事などの唾液分泌時に顎下腺の痛みと腫脹が起こります。薬で炎症を抑えるのとともに、唾液腺をマッサージして唾液の排泄を促してあげるのが有効です。